

【 臨床研究に関する情報の公開 】

COVID-19で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	直接介入を実施したCOVID-19患者における早期リハビリテーションの効果
2. 研究の対象者	2021年4月12日 ～ 2022年8月25日の間に、COVID-19感染症の診断で直接的なリハビリを実施した患者
3. 研究期間	2022年8月27日 ～ 2023年8月1日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師 崎田 佳希 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	COVID-19感染症患者には感染予防を徹底した上で、積極的なリハビリテーション治療が必要であると提言されている。当院においては2020年4月からCOVID-19対策チームをリハビリ科内で結成し、急性期COVID-19感染症患者に対して徹底した感染対策のもと、フローチャートを作成し運用している。今回、直接介入を実施したCOVID-19患者における早期リハビリテーションの効果について明らかにする。
6. 研究の方法	診療録（カルテ）より基本的情報や身体機能、転帰先などの情報を後方視的に調査します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	診断名、年齢、性別、既往歴、新型コロナウイルス感染症の重症度、退院時の歩行能力（FAC）、Barthel index、リハビリ期間、在院日数、転帰先
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 崎田 佳希
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 崎田 佳希 電話：06-6458-5821（代表）